

令和7年度 富士中学校 学校経営方針と主な取組

今を充実させ今後自己実現をして世の中を生き抜くために 生徒 保護者の願い

令和の日本型学習 東京都・世田谷区教育目標 生徒の実態

「『出来るようになってうれしい』がちりばめられている」「自己肯定感が向上する」
自己肯定感は前に進む力につながる

学校経営方針 「安心・安全で、成長の喜びのあふれる温かい学校」

施設設備が安全で、不適切な指導がなく、いじめがない

授業で間違えられる、互いが励まし支え合い伸ばし合う

経営方針を達成するための重点と具体策

1 学習面で できてうれしい場面を創り支える 【認知能力の育成】

(1) 個別最適化の推進(指導の個別化>学習の個性化・自由進度)

- 生徒理解を深めインクルーシブ、ユニバーサルデザインの視点も含め、個々の生徒が伸びる指導をすることにより、生徒の主体的な学びを実現させる

(2) PISA型読解力の丁寧な育成

- いわゆる PISA 型読解力(インプット、思考、アウトプットの能力)の向上
インプット、つまり、読む力、聞く力、図表を読み取る力などと、思考力、そして、アウトプット、つまり話す力や書く力、応用したり実践したりする力を丁寧にかつ計画的に指導する

- 生徒、教員がICTを道具として使いこなすこと
- 学校図書館の有効利用
- NIEの活用
- SDGs の実践

2 自信をもち、支え伸ばし合う心の醸成

【積極的な生活指導の充実、そして非認知能力の涵養】

- ・生活面での主体性、自己肯定感を含む非認知能力の涵養
 - 非認知能力…学力調査やテストなどで測れない力
コミュニケーション力、他者理解、思いやり、協調性、ソーシャルスキル、リーダーシップ、など
- ・上記を実現するための構成的グループエンカウンターの実践
- ・協働的な学びの充実…生徒会、委員、係活動、各行事、部活動、ボランティア活動や地域への貢献、の充実
- ・SWPBS(学校全体で取り組むポジティブな行動支援)の視点での指導、助言
- ・縦割りでの機会を活用

3 支援を必要とする生徒についての知識と指導力の向上と

不登校対応の充実

- ・特別支援教育の知識と指導力の向上 関係内容の研修会
- ・スマイル専門員や SC、インクルーシブ支援員との連携
- ・校内委員会の週一回開催
- ・不登校を生まない、増やさない環境づくり
- ・不登校生徒の丁寧な支援とコミュニケーション
- ・不登校生徒のステップアップの場としての、別室指導の充実

4 本校の大きな強み 地域力の活用

- ・ボランティア活動の充実、
- ・避難所運営訓練

5 1~3を充実させるための校内研修の充実

- ・道徳を含めた教科、特別支援、構成的グループエンカウンターについて
講師を招聘した校内研修の実施